



## 自然・ひと・体験

編集：日本野外教育学会広報委員会

発行：日本野外教育学会事務局

〒305-8574 つくば市天王台 1-1-1 筑波大学体育系野外運動研究室内

TEL&FAX. 029-853-6339



戸隠神社奥社参道杉並木

## 日本野外教育学会第21回大会（長野） 案内

巻頭言	野外教育と目的	土方 圭	2
日本野外教育学会第21回大会のご案内			3～5
団体・活動紹介			6～7
日本野外教育学会第1回研究集会のご案内			8
事務局便り			8～9

## 巻頭言 野外教育と目的

土方 圭 (明治大学)

今冬2本目の実習は、来る6月に第21回学会大会が開催される信州大学教育学部に程近い戸隠高原で実施されました。実習内容は民宿で共同生活を送りながらテレマークスキーで戸隠を満喫するというものでした。3泊4日のうち初日と最終日はゲレンデで滑走をしますが、2日目と3日目は戸隠周辺の魅力的なフィールドに分け入るといったものです。2日目は主に水平方向に10km程度移動し、3日目は垂直方向に高低差700mを滑走します。テレマークスキーの特性（ヒールフリー）を活かし戸隠高原を縦横に駆け巡るといった内容で、また、雪遊びを楽しむなどスキー技術の習得にとどまらないものになっています。

ところで以前、私は某大学の教授（専門は哲学）と「野外教育」について話しをする機会がありました。私の専門とする野外教育とはどのようなものかを説明するなかで、その教育効果にも話が及びました。そこで私は現在までの研究成果（心理的変数のポジティブな変容等）に少し触れつつも、実際のところ教育の効果はすぐに出るかもしれないし、数十年後になるかもしれないという話をしました。しかし、その先生は「それは無責任である。実施した教育に対しては目に見えるような成果の保障が要求される」といった趣旨の発言をされていました。なるほど、ごもっともなご指摘です。ですが、私はそのとき次のようなことを考えていました。

「私は大学教員であり、学校教育の枠組みで授業を行ってはいる。しかし、野外教育にはこの枠組みに回収されない側面が多分に含まれている。それは費用対効果や単純な因果関係などで簡単に説明できないものである」

大学での野外教育実習を担当していつも思うことがあります。実習を行うにあたりシラバスなどで「授業の目的」について記述を求められます。もちろん期待する学生像もありますし、大学のポリシーとの整合もありますので、それらの点を考慮した授業の目的を設定します。例えばコミュニケーションの円滑化や、はたまた社会的スキルの獲得などでしょうか。しかし、本音では目的の半分は未定だと思っています。なぜなら、野外教育は自然の多様性や不確定性を活用し現代文明から外に出ようとする教育です。であるのに、わざわざ想定可能な目的

を設定すること（つまり因果関係や予定調和を持ち込もうとすることは、「野外」で行う教育の意味を減じると考えるからです。つまり「野外」は多様で不確定であるが故に、常に我々に問題を投げかけ、それに関わり対処する過程において、その都度、結果的に教育の目的となりえたものが生成されると考えているのです。当然、ここでは我々があらかじめ設定した教育の目的に都合よく貢献するような問題ばかりが生起するわけではありません。

張本ら<sup>1)</sup>は野外教育における「教育」に二つの視座を見出しています。一つは人間の内に持っている発達や成長の可能性をはぐくみ引き出すという「育」に重きが置かれる側面と、もう一つは人間の外から必要な知識や技能を教えるという「教」に重きが置かれる側面の二つで

す。「教」の多くは意図的にそれが為されるのに対して、「育」が成立する場合は無意図的に、結果的にそれが為されている状況が存在するとしています。野外教育は自然や他者等との関わり=体験を通して「育」へも積極的にアプローチしていきます。そして、この「育」は個々人の背景と密接に関係しつつ無意図的にも進行しますから、自然科学的因果関係を見出そうとする場合、一筋縄では

いかないのです。

今回の実習では、戸隠という偉大な「場所」が学生個人個人の潜在力に働きかけ、育み、引き出してくれたことを願ってやみません。また、このような場所で教員（指導者）にできることは、「学生（参加者）」と「野外」を繋ぐことに徹するということなのかもしれません。教育の成果が、何年後に、どのような形で表出するかはわかりにくいですが、この点の解明は研究者として努力し続ける必要があるでしょう。

もし、定めた目的を達成するためのツールとして単純に野外教育を捉えているならば、「野外」の本質がもたらす豊かさを見逃している可能性があるかもしれませんね。

- 1) 張本文昭、土方圭 (2016) : 教育および体験に関するレビューと野外教育における課題と展望、野外教育研究 19 (1) : 27-40



実習中に鏡池より望んだ戸隠連山

## 日本野外教育学会第21回大会（長野）のご案内

大会実行委員長：平野 吉直（信州大学）

### 大会テーマ：野外教育の発展に向けて～研究方法を探る～

日本野外教育学会では学会創立20周年を迎え、野外教育研究のさらなる発展をめざして、日本野外教育学会編集による「野外教育学研究法」を2018年1月に発刊することができました。大会テーマは、第18回大会から第20回大会での議論と、「野外教育学研究法」の発刊を踏まえ、『野外教育の発展に向けて～研究方法を探る～』といたしました。このテーマに則り、学会企画委員会と連携し、4つの分科会で研究法を深く学び合う場を設けることとしています。また、豊かな自然に囲まれた信州ならではの企画も予定しています。基調講演は、カッコウの托卵やライチョウの生態の研究で有名な中村浩志氏にお願いすることになっています。また、6月22日（金）には、中村浩志氏指導による探鳥会や、渡辺隆一氏（元信州大学教授）指導による自然観察会を戸隠森林植物園で実施するなど、信州の大自然を満喫していただくエクスカージョンを準備しています。

20年間の学会の足跡をふりかえり、さらなる発展の一步を踏み出すこととなる第21回大会が信州大学で開催できますことを、大変光栄に思っております。実行委員会委員一同、多くの会員の皆さまに信州にお越しいただけることを、心よりお待ちしております。よろしくお願い申し上げます。

1. 期日 2018年6月22日（金）～24日（日）  
〒380-8544 長野県長野市西長野6-ロ  
<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/>

14:00～15:15 研究発表Ⅲ  
15:30～ 閉会式

### 3. 大会日程

#### 【第1日目：6月22日（金）】

エクスカージョン

- A：戸隠探鳥会（戸隠森林植物園）  
B：自然観察会（戸隠森林植物園）  
C：カヤック（犀川及び野尻湖等）

※詳細は学会ウェブサイトにてご案内いたします。

#### 【第2日目：6月23日（土）】

- 8:30～ 受付  
9:00～11:30 自主企画シンポジウム  
11:30～ 理事会  
13:00～ 開会式  
13:30～ 基調講演  
講師 中村浩志氏  
(一般財団法人 中村浩志国際鳥類研究所)  
15:00～ 「野外教育学研究法」分科会  
第1分科会:歴史・哲学的研究  
第2分科会:調査研究  
第3分科会:実験的研究  
第4分科会:事例研究  
17:00～ 総会  
18:30～ 情報交換会（ホテル国際21）

#### 【第3日目：6月24日（日）】

- 8:30～ 受付  
9:00～10:15 研究発表Ⅰ  
10:30～11:45 研究発表Ⅱ  
13:00～14:00 ポスター発表

### 4. 第21回大会専用ウェブサイト

各種申込や原稿提出は、下記URLから行ってください。

<http://joes.gr.jp/shinsyu2018>

### 5. 研究発表・実践報告の申込

#### 【発表等申込期限：4月25日（水）】

- \*原則として、大会専用ウェブサイトから申してください。  
\*研究発表は、口頭形式とポスター形式があります。実践報告は、ポスター形式のみです。

### 6. 抄録原稿の提出

#### 【抄録原稿提出期限：5月9日（水）】

- \*原則として、大会専用ウェブサイトから申してください。  
\*「発表資格と注意事項」および「抄録原稿提出要領」に従ってください。

### 7. 自主企画シンポジウムの申込および原稿提出

#### 【申込・原稿提出期限：4月25日（水）】

自主企画シンポジウムは、第21回大会に参加する学会員自らが、テーマ、司会者、話題提供者、指定討論者等を設定して実施されるシンポジウムです。自主的にシンポジウムの企画を温めてきた学会員、若手研究者の申込をお待ちしています。企画を希望する会員は、原則として、第21回学会大会専用ウェブサイトから申込みをしてください。

※「自主企画シンポジウム抄録原稿提出要領」に従ってください。

## 8. 大会参加の申込

**【大会参加の申込期限：5月9日(水)】**

\*原則として、大会専用ウェブサイトから申込した上で、必ず参加費等を納入してください。

## 9. 会場までの交通機関

信州大学教育学部 (長野市西長野)

◆JR「長野駅」下車 徒歩20分

◆長野電鉄「善光寺下駅」徒歩15分

(JR長野駅から乗り換え)

◆バス

JR長野駅善光寺口4番のりばで、長野市循環バス『ぐるりん号』に乗車(10分)、バス停「信大教育学部前」下車

◆自家用車

大学構内の駐車場(無料)が利用できます。台数確認のため、参加申込時にお知らせください。

## 10. 宿泊および食事について

長野駅及び善光寺周辺には、宿泊施設が多数ありますので各自で手配ください。また、当日学内の食堂は営業していません。大学近隣には、食堂・コンビニエンスストア等があります。お弁当(700円)を注文される方は、参加申込時にご注文いただき、料金をお振込みください。

## 11. 参加費・懇親会費

①参加費(大会参加費+研究発表抄録集代)

	事前納入	当日納入
一般会員	5,000円	6,000円
学生会員	3,000円	3,000円
団体会員	5,000円	6,000円

非会員(一般) 2,000円/日

非会員(学生) 1,000円/日

※非会員の参加費は、事前・当日料金ともに同額です。

※抄録集(2,000円)のみの購入も可能です。

②懇親会費

	事前料金	当日料金
正会員(一般)・団体会員 ・非会員(一般/学生)	5,000円	6,000円
正会員(学生)	3,000円	4,000円

## 12. 納入方法

同封の振込用紙を用いて、下記口座に振込みください。

**5月9日(水)までに納入確認できない場合、当日料金をいただきます。**また、一旦納入された参加費等の返金はいた

しません。

**【振込先 郵便振替口座】**

口座記号番号 00520-3-87179

口座名称 日本野外教育学会第21回大会実行委員会

<他の金融機関から振込みの場合>

ゆうちょ銀行 ○五九(ゼロロギョウ)店 (059)

当座 口座番号 0087179

## 13. その他

託児室等の設置を予定しております(現在調整中)。

## 14. 大会事務局・問い合わせ先

〒380-8544 長野県長野市西長野6-1口

信州大学教育学部 瀧直也研究室

日本野外教育学会第21回記念大会事務局(瀧直也)

TEL&FAX:026-238-4117 E-mail:21th@joes.gr.jp

\*問い合わせ等は、できるだけE-mailでお願い致します。

**研究発表・実践報告の注意事項**

◆発表の資格に関すること

- 筆頭者および演者は、正会員、名誉会員、団体会員(一般)、賛助会員、および大会実行委員長が認めた者とする。ただし、非会員であっても外国人研究者に関してはこれを認める。
- 共同研究者には、非会員が名前を連ねても差し支えない。
- 筆頭者および共同研究者に関して、会員は年会費を期日までに完納していること。また、非会員は所定の発表投稿料(3,000円)を期日までに納付すること。

◆発表の方法等に関すること

- 原則として未発表の研究に限る。
- 筆頭の発表(口頭発表、ポスター発表、実践報告)は1回の大会において1題目に限る。
- 発表の言語は、日本語あるいは英語とする。
- やむをえない理由で演者が発表できなくなった場合、事前に大会実行委員長の承認を得て、共同研究者による代演を認める。

◆抄録原稿に関すること

- 一度提出した抄録原稿の訂正はしない。
- 発表された抄録は、学会ウェブサイトに掲載する。

◆その他

- 本学会が定める倫理規定を順守すること。

2. 以上の発表要件に満たない研究は、発表を取り消す場合がある。

### 研究発表（口頭/ポスター）抄録原稿提出要領

大会専用ウェブサイトから、「研究発表抄録原稿フォーマット」をダウンロードして使用してください。

1. 原稿枚数：口頭形式はA4版2頁、ポスター形式はA4版1頁とします。原稿は、白紙を縦置きにし、天地左右に25mmの余白を設定し、ワードプロセッサ等で作成して下さい。
2. 演題（14ポイント・ゴシック体）：演題は1行目（必要があれば2行目まで可）に、副題がある場合は改行してそれを記載して下さい。また、演題（あるいは副題）の下の行に、英文タイトルを記載して下さい。
3. 氏名（12ポイント・明朝体）：英文タイトルの下に1行空白を設け、その下の行に氏名と（ ）内に所属を記載して下さい。また、共同研究者も同様に連記し、演者氏名の前に○印をつけて下さい。
4. キーワード（10ポイント・明朝体）：氏名の下に1行空白を設け、その下に発表内容のキーワード（2～5個）を記載して下さい。（例）キーワード：○○○○、○○○○、○○○○
5. 本文（10ポイント・明朝体）：キーワードの下に1行空白を設け、その下から本文を記載して下さい。本文は、1行あたり20～22文字の2段組とし、1頁の行数は、演題の行を含め40行程度とします。
6. 図・表および写真：原稿に直接挿入し、「通し番号」と「見出し」をつけてください。
7. 提出方法：原則として、大会専用ウェブサイトから、PDF形式の原稿データを提出してください。なお、原稿の校正は行わず、そのままオフセット印刷で抄録集に掲載します。
8. 原稿締切：**2018年5月9日（水）必着**
9. その他：上記の提出要領に沿わない原稿は受け付けません。なお、上記以外に「野外運動データベース（ROP）」登録に必要な情報を提供していただく場合があります。

### 実践報告（ポスター）抄録原稿提出要領

1. 原稿内容：抄録集に概要を掲載するため、「演題」、「英文タイトル」、「氏名と所属」、「概要（500字以内）」を作成して下さい。また、演者氏名の前に○印をつけて下さい。
2. 提出方法：原則として、大会専用ウェブサイトから原稿内容を提出して下さい。
3. 原稿締切：**2018年5月9日（水）必着**
4. 発表方法：当日の発表は、研究発表（ポスター形式）に準じた形式となります。

### 自主企画シンポジウム 抄録原稿提出要領

抄録集に自主企画シンポジウムの紹介文を掲載します。以下の、原稿の作成・提出の要領、留意事項をご確認ください。

1. 原稿内容
  - ・「シンポジウムテーマ」、「テーマの英文」「企画担当者（役割も含めて）」「企画の趣旨（400字程度）」を作成してください。大会実行委員会でA4版1/2頁程度に編集し、抄録集に掲載します。
  - ・企画担当者については、氏名の後に（ ）を記し所属を記入してください。また、役割については、企画者、コーディネーター、話題提供者、指定討論者など、ご自由に設定してください。
2. 提出方法
  - ・原則として、学会大会専用ウェブサイトから原稿内容を提出して下さい。
  - ・原稿締切：**2018年4月25日（水）必着**
3. 留意事項
  - ・申込多数やテーマが重なった場合は、大会事務局で調整の上、5月上旬に申込者に決定連絡する予定です。
  - ・テーマや趣旨が本学会の趣旨と著しく異なっていたり、事前の申込内容と著しく違う場合などは、実行委員会の判断で企画を取りやめていただく場合がありますので、十分にご留意ください。
  - ・原稿提出後に、企画内容・場所・機材等について、申込者にメール等で連絡調整をする予定です。

## 第21回大会の直前案内について

今後、事前案内に関する変更点、研究発表の内容とスケジュール、エクスクーシヨンの詳細など学会大会の直前案内については、大会専用ウェブサイトに随時掲載していきますので、サイトにアクセスし、その内容をご確認ください。

## 団体・活動紹介：「しまなみ野外学校」

しまなみ野外学校の主催するプログラムが、先日の日清食品のトム・ソーヤスクール企画コンテストで安藤百福賞を受賞されました。しまなみ野外学校は、昨年の20回記念大会における記念講演でご登壇いただいた岡田武史氏が代表を務められています。今回は、岡田代表のしまなみ野外学校設立への思い、団体の概要や活動について紹介します。岡田代表の文章は、今回特別にニュースレター用に書き下ろしていただきました。

それは1997年マレーシアのジョホールバルという町のホテルの部屋にいたときのことだった。

「もういい！今の自分の力を出す以外ない」と完全に開き直った。

サッカー日本代表の監督として、1998年のフランスW杯の最終予選イランとの決戦前夜、41歳とまだ経験の浅い私はものすごい重圧の中で潰れそうになっていた。いつも通り部屋で試合のビデオを見ている時に前述のように開き直った。それ以降怖いものが無くなった。

自分の人生の大きな転機だった。

どんな人もご先祖様から受け継いだ強い遺伝子を持っているが、現代の便利快適安全な社会に暮らしていたら遺伝子にスイッチが入らない。私はどん底の時にスイッチが入ったが、今の子供たちはいつどこでスイッチを入れるのだろうか。いつ強くなるのだろうか。

私は一般社団法人を立ち上げ子供たちや若者への野外体験をやり始めた。

自然の中で困難を乗り越え遺伝子にスイッチを入れ強くなると共に、どれだけ科学が発達しても絶対に勝てないものがある事、人間が勝手に人工と自然と分けているという事、人間も地球の大きな循環の中の一部だという事などを感じ、気づいて欲しいという思いだった。

今、愛媛県の今治市でサッカーチームのオーナーをやりながらも、野外体験教育、環境教育、チームビルディングなどの活動をやっている。

全ては我々の企業理念である「次世代のため、物の豊かさより心の豊かさを大切に社会作りに貢献する」のためである。

岡田 武史 (株式会社今治・夢スポーツ)

### ○ しまなみ野外学校とは

瀬戸内海に面する里山の一角にある、しまなみアースランドの里山ゾーンの耕作放棄地を生かし、2017年春、株式会社今治・夢スポーツの野外体験活動部門『しまなみ野外学校』の活動が始まりました。

地域の子どもたちはもちろん都市の子ども達や青年に向け野外環境教育の場を提供する事を目的としています。無人島生活、離島での文化体験や沢登り、長距離歩行の旅などのアウトドア、スポーツ、暮らし体験など【自然】と【自然と暮らしのつながり】を通じて、自分に向き合うことが当校の主旨です。

### ○ ミッション

私たちのモットーでもある、『生きる力を育む活動の推進』の旗を掲げ、しまなみ野外学校は、これからも、未来を歩む子供たちや若い世代と共に、海に山に川に里に暮らしにと、自らの手や足を使って、体と頭と心を目一

杯使っていきたいと思います。次世代を担う子ども達へ多くの自然体験活動の機会を提供し、持続可能な社会づくりに寄与する人材を育成します。

### ○ 私たちの活動と場所

■しまなみキッズ：自然豊かな今治を舞台に、自然の中で遊ぶ楽しさ、チャレンジすることの喜び、仲間の大切さ、自然と共にある事とは何かを一緒に学んでいくプログラムです。

■島の冒険キャンプ8泊9日：“冒険する・チャレンジする・体験する” 当たり前前の豊かさの根っこを探しに、無人島を目指します。

■瀬戸内海縦断プロジェクト8泊9日：『本当の豊かさとは、何なのか』海を渡り、瀬戸内の文化と自然の中で“生きる”ことに向き合いながら、四国を目指します。キャンプを通して、自然の持つ力や自然が与えてくれる豊かさや変化を経験することで、私たちと自然との

関係に気付くことができるプログラムです。

■**企業研修・実習**：“冒険教育”の持つ楽しさを活かしながら、他者との関わりの中で自分を見つめ、自然の中で自分を知る事で、納得できる自分を創りの過程を、そして体験を通して、人や世の中、自然との関わりの中で、何を感じ、何を考え、どう体を動かし、今の Comfortable を破る、自分創りのプログラムです。

#### しまなみアースランド

しまなみアースランドは自然に親しみ、体験を通じて自然との共生を学ぶことを目的に造られた公園です。平成23年3月31日に、全体面積34.9haのうち約11haをオープンしました。公園の周辺には豊かな森が広がり、多くの動植物が生息しています。耳を澄ますと、木々の声、鳥の声が聞こえます。空を見上げると、真っ青な空に大きな羽を広げた鳥が舞っています。公園内には広い原っぱもあり、自然を身体で感じながら、思いっきり走り回ることもできます。

#### 瀬戸内海と廻りの自然

大小700にも及ぶ島々が点在する瀬戸内海。島から内陸に足を延ばすと、里山を流れる鈍川など、人の暮らしと文化を通じて山から海まで繋がるエリアです。遊ぶ楽しみや時に厳しさを無人島や山、そして川の自然が教えてくれます。

#### しまなみ野外学校野営場

里山の耕作放棄地に簡素な野外生活の出来る広場を切り開き、野外の生活術を学んだり、里山で元気に遊ぶ時間に使います。※本野営地は一般利用できません。ご利用は、当法人が実施するプログラムにお申込み頂く必要があります。

#### しまなみ野外学校の

##### 野外環境コミュニケーションプログラム趣旨

本物の自然と先人たちが築いた豊かな暮らしに触れることを通して、“命のつながり”を共に実体験を通じて学ぶ場です。自らの力で海をシーカヤックで海を漕ぎ島から島へと渡ったり、私たちの目指すゴールへ向けて歩んだり…。

初めて出会う仲間とのグループキャンプやソロキャンプなど、様々な挑戦を重ねることで、本当の豊かさとは何なのかを問いかけてくれることでしょう。

自然界は時には優しく迎え入れてくれ、時に厳しい場面にも出くわす事でしょう。自己の成長を手助けしてくれる仲間の存在に励まされ、気づかされ、愛されて、皆さんたちは自分の中に眠る無限の可能性と言う種を開花させてください。時に喜びに満ちてはしゃぐ日もあるでしょう。

最高の仲間と最高の経験の舞台でもある森や海や島が、自然から遠く離れてしまった人の暮らしと心を、自然のもとに戻し、命のつながりの中に生きる喜びを共に体感しましょう。

#### 参加者募集

##### 【瀬戸内海縦断プロジェクト8泊9日】

キャンプを通して、自然の持つ力や自然が与えてくれる豊かさや変化を経験することで、私たちと自然との関係に気付くことができるプログラムです。自分たちの力で海を渡り、仲間と工夫しながら暮らし、時に自然の中で一人自分と向き合うこともあります。

普段の生活では体験できない暮らしを通じて、自信と達成感、信頼と勇気が育まれることでしょう。離島や無人島での暮らしの中で学んだ事を通じて『未来をどう生きるか』を、仲間と共に考え話し合い未来を生きる地球人になってください。

【一次募集期間：4月16日(月)～5月20日(日)】

■日程：平成30年8月17日(金)～25日(土)

■参加対象者：14才～22才健康な男女

■参加費：60,000円(税込)

※なお、世帯収入などにより、参加費の補助など有りますので、お気軽にお問い合わせ、ご相談ください。

※旅行業法に基づき集合/解散地までの交通費は含まれておりません。

#### ボランティア募集

##### 【島の冒険キャンプ8泊9日】

自分に向き合い、仲間と向き合い、島での生活を共にする事により、普段の生活では体験出来ない達成感と、さまざまな経験を積む事で、自分の中に眠る無限の可能性を呼び覚まし様々な事にチャレンジしてほしい。私たちスタッフは、そんな思いで未来ある一人一人の子供たちの1ページの物語をサポートします。

■日程：平成30年7月25日(水)～8月2日(木)

■参加対象者：今治市の子どもを中心に都道府県の健康な小学4年生～中学3年生の健康な男女

#### 申込・問合せ先「しまなみ野外学校」

担当：木名瀬(きなせ)・本多(ほんだ)

mail：contact@searthland.com

〒794-0084 愛媛県今治市延喜甲604-1

TEL：090-2789-2029 Fax：0898-31-8702

しまなみ野外学校HP：

<http://s-earthland.com/category/yagai/>

※プログラム等の詳細は、しまなみ野外学校のHPをご覧ください。



## 日本野外教育学会第1回研究集会のご案内

企画委員会：張本 文昭（沖縄県立芸術大学）

企画委員会では、第18-20回学会大会に開催された連続シンポジウム「これからの野外教育の発展に向けて」における議論を元に、学会としての新しいアクション、事業を模索、検討しています。その一環として、今秋に『日本野外教育学会第1回研究集会』を開催する運びとなりましたので、本誌面を通じて会員の皆さまにお知らせいたします。この研究集会は、学会員の研究促進・発展に資することを趣旨としています。まだ検討中ではありますが、研究手法や統計に関するワークショップ、科研費を含む外部資金獲得セミナー、卒論・修論プロポーザル検討会、研究事例検討会、学会員以外の他分野の講師によるシンポジウム、これからの研究や学会を語り合うランチミーティングなどをプログラムとして考えています。現在、伊原久美子氏（大阪体育大学）、岡田成弘氏（仙台大学）、山田亮氏（北海道教育大学岩見沢校）、渡邊仁氏（筑波大学）、そして張本の5名によりワーキンググループを立ち上げ、以下の内容で開催を検討しております。

1. 期日 2018年10月20日(土)
2. 会場 明治大学 和泉キャンパス
3. プログラム  
10:00～12:00 「開会式」「分科会」  
12:00～13:00 「ランチミーティング」  
13:00～17:00 「シンポジウム」「研究討議」  
「閉会式」

現在、本事業の企画運営に参画する会員を募集しています。そして6月の長野大会においてプロジェクトチームを編成し、研究集会に向けた諸準備を進めていきたいと考えております。学会の新たな取り組みを一緒に創ってみようと思う会員の皆さま、連絡をお待ちしております。なお今後、研究集会の詳細について、随時HPやニュースレターを通じてお知らせいたします。長野大会と同様、秋の研究集会へも多くのご参加をお待ちしております

連絡先・問い合わせ先 張本文昭

harimoto@southernx.ne.jp





日本野外教育学会